

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.35



グリーンコープでんき

2020年5月25日発行
一般社団法人グリーンコープでんき

6/22~7/18

～“グリーンコープでんき”キャンペーンが始まります～

**グリーンコープでんきを利用する仲間を増やして、
地球環境を守り、原発のない社会を創り出しましょう!!**

グリーンコープでんきは、全国に多くの電力会社がある中でも、とても特長のある電気です。特長の一つは原発の電気を使っていない「原発フリー」であること、一つは地球温暖化の原因でもある二酸化炭素排出ゼロ※であること。

「生命(いのち)」を大切に作るグリーンコープだからこそ実現できた電気だと言えます。チェルノブイリ原発事故、そして福島第一原発事故を受けて、「原発の電気は使いたくない」「子どもたちのために原発のない社会を創りたい」と願ってきた組合員の思いが一步実現したことになります。めざすは、日本にあるすべての原発を止めて、自然エネルギー社会へ転換することです。長い道のりですが、グリーンコープでんきを利用する仲間を増やすことで、一步一步進めていきましょう。

※電気事業者別排出係数—平成30年度実績—(環境省・経済産業省公表)

ぜひチラシを
ご覧ください

6月22日週に キャンペーンチラシを配布!

■気軽に「資料請求」や「問い合わせ」、「電気料金シミュレーション」を試みよう!

- ①電気料金かんたんシミュレーションの案内をします。
グリーンコープでんきに切り替えると、電気料金が変わるかもしれないという方へ、まずは、電気料金を調べてみましょう!
- ②フリーダイヤルやFAX、二次元バーコード(携帯)、パソコンから、かんたん資料請求ができます!

■家庭用太陽光発電余剰電力買取エリア拡大の案内!

これまで九州エリアだけだった卒FIT買取を、中国エリアと関西エリアへと拡大します。

利用者を増やして、「神在太陽光発電所」をグリーンコープでんきの電源にしよう!!

グリーンコープの市民発電所第一号「神在太陽光発電所」(福岡県糸島市)が稼働したのは、2013年9月。その時から組合員の願いは、「神在太陽光発電所の電気を使いたい」ということでした。その願いが九州エリアで「グリーンコープでんき」利用者純増300件以上で実現します。具体的には、4月現在の契約件数は3281件で、3581件以上になることです。ぜひ、みんなの力で実現させましょう!!

注目

- 「グリーンコープでんき利用明細」が変わります!
- でんきポータルサイトを活用して、電気料金のこと、調べてみませんか? 詳しくはチラシに掲載!

ながわ小水力発電所(長野県松本市)

霧島太陽光発電所(鹿児島県霧島市)

2つの発電所が竣工します!

「原発フリー」の“グリーンコープでんき”。その「託送料金(電線使用料)」には、原発に使われる費用が含まれています。それはおかしいこと、問題であるとし、グリーンコープは「託送料金検討委員会」を立ち上げ検討してきました。そうした中、2020年4月から「賠償負担金」と「廃炉円滑化負担金」までもが、託送料金上乗せにされることになりました。

この間、その違法性を問うために訴訟に打って出ることに、組合員検討してきました。その最終決定をしたのが、先日(2月12日)のグリーンコープ共同体臨時社員総会でした。その議案書を2回に分けて掲載します。

託送料金訴訟決定の件

— vol.2 —

《前号からの続きです》

{二} 訴訟の概要。

(1) 訴訟の当事者と時期

- 一) 訴訟当事者はグリーン・市民電力です。
グリーン・市民電力が原告となり、国を相手に「新しい託送料金変更認可の取消しを求める」訴訟(取消訴訟)を、次に九州電力を相手に「託送料金中の両負担金分の返済を求める」訴訟(不当利得返還等請求訴訟)を起こします。
- 二) 時期は、2020年4月に経済産業省令が施行され、賠償負担金や廃炉円滑化負担金の承認、申請、通知、認可等がなされ、両負担金の徴収が開始された後の、2020年の夏から秋にかけてとなると考えています。

(2) 訴えること

- 一) 国に対する訴訟では「電線使用とは関係がない原発費用(賠償負担金と廃炉円滑化負担金)を上乗せした託送料金の認可をすることは間違っているのだから、その認可の取消しをしてもらいたい」と訴えます。
- 二) 九州電力に対しては「託送料金は大手電力会社に電線使用料として支払うものなのに、それに関係がない原発費用(賠償負担金と廃炉円滑化負担金)の上乗せがされている。その上乗せ分を返してもらいたい。今後支払えない」と訴えます。

(3) 訴訟の費用について

- 一) 裁判費用は、ア) 裁判所への印紙手数料・イ) 弁護士報酬・ウ) 交通費やコピー等実費の3つです。アは数万円程度、ウは年に数十万円程度、イは着手金と成功報酬からなり、着手金は予想される労力と訴える額等、成功報酬は判決の最終結果に応じて支払います。

二) 弁護士報酬については、本件は単なる金銭請求訴訟ではなく「託送料金に賠償負担金や廃炉円滑化負担金を含めることが許されるのか」「託送料金に賠償負担金や廃炉円滑化負担金を含めることを省令のみで決定してよいのか」を問う、社会的意義のある重要な訴訟であることを踏まえ、また、この間検討をともにしてきた弁護士5名いずれもがその意義とグリーンコープの考えや理念に共感することから、費用をできる限り抑えてもらうこととしました。またあらかじめ成功報酬の考え方も整理しました。

- 1) 着手金：国に対する取消訴訟と、九州電力に対する不当利得返還等請求訴訟の2つをあわせて、5名で1,350万円とします。
- 2) 成功報酬：①勝訴の場合は5名で2,500万円とします。②実質的勝訴の場合(敗訴判決であるが、理由中の判断で「託送料金に賠償負担金や廃炉円滑化負担金を含めるためには、国会できちんと議論して法律制定の形にすることが望ましい。」とされるなどで、その後の取組みにつながっていく場合)は5名で1,250万円とします。グリーン・市民電力やグリーンコープ自体の経営に打撃を与えるようなことにはなりません。

三) 控訴、上告がある際には一審の様子を踏まえ、着手費用を相談して定めます。



(4) グリーン・市民電力の経営への影響について

一) グリーン・市民電力が裁判費用をまかさないです。グリーン・市民電力の再エネ発電所事業が順調に進んでいることから、上の費用をつくることは、控訴や上告のさいの着手費用を想定した場合も含めて、大丈夫と試算しています。

二) また、この訴訟では、①2つの負担金をグリーンコープでんき契約者に請求せずにグリーン・市民電力が負担しておく、②グリーン・市民電力がこの負担に基づいて大手電力会社・国を訴える、とします。この負担分は、現時点、最大年間200万円強と見積もられます。判決が出るまでグリーン・市民電力が負担しておきます。勝訴であれば戻ってきて、敗訴であれば戻ってきません。この負担も含めて試算しています。

・国が出している「賠償負担金」案は「1 kWh 0.07円。標準家庭(260 kWh)で月18円位」となっています。

・グリーン・市民電力契約者の電力使用量は、月平均240万 kWh。年間2,900万 kWh です。

(低圧) 3900件・1件当たり

340 kWh・計133万 kWh。

(高圧) 52件・1件当たり

2万6百 kWh・計107万 kWh。

合計 240万 kWh。

・賠償負担金試算は、月平均16万8千円。年間201万6千円になります。

(低圧) 133万 kWh×0.07円≒9万3千円。

(高圧) 107万 kWh×0.07円≒7万5千円。

合計 16万8千円。

なお、高圧契約の大半はグリーンコープ関係事業所なので、それを含めるかどうか等は、今後の検討によります。

・「廃炉円滑化負担金」のほうは、まだ内容も額も示されていません。

三) 以上をグリーン・市民電力の経営の中で支出することでグリーンコープでんき料金を値上したり、グリーン電力出資金を損なったりすることはありません。もちろん、これを支出する中でどのように経営を進めていくかの計画をつねに考えます。グリーンコープ本体の経営への影響や商品

代金への転嫁などはありません。

四) そのうえで、「(仮称)託送料金訴訟を支える会」をつくり、広く組合員・市民の方に、この問題をともに考え、協力をいただけるようなカンパ金を呼びかけます。そうすることでグリーン・市民電力の経営への影響を減らし、組合員が主権者である意味を共有します。

三. 訴状案

訴状案は別紙のとおりで準備をしています。今後半年間の推移のなかで必要な修正を行うことについて、ご了解をお願いします。

また、訴状案については総会当日に回収をする予定です。当日欠席される代議員の方は、書面議決書提出にあわせて回収にご協力をお願いします。加えて、訴状案の複写等はなされないように、ご協力をお願いします。

四. これからについて

(一) 経済産業省とエリア内の大手電力三社に、諦めることなく「賠償負担金と廃炉円滑化負担金を託送料金に上乘せするのはおかしい。思い留まってほしい」という話し合いを続けたいです。

(二) また、①議員へ知らせること、②全国の運動団体や新電力事業者に知らせること、③国会での院内集会の実施等を取組みます。

(三) 行政も国会も変わらず、大手電力会社の方針も変わらないとき、訴訟を提起していきます。そうした時、組合員や市民の一人ひとりがこの託送料金問題を私たちの生活に関わる自分たちの問題として考えて関わるようにするため、「支える会」をつくって、広くカンパを呼びかけて進めていけるようにしたいと考えています。そのお金を裁判費用にあて、また傍聴など裁判を支える活動や組合員間や社会的な取組みにも活かしていきます。また、組合員や市民が誰でも進行の状況や内容を知っていけるように進めていきます。

以上を踏まえ、グリーンコープ共同体総会と各単協総代会それぞれにて、代議員や総代の考えを出し合って話し合い、本提案の可否を議論して、裁判を行うかどうかの判断をお願いいたします。

(了)

■グリーンコープでんき

- ・4月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GC生協おおさか	8	52	255
GC生協ひょうご	10	26	176
GC生協とっとり	2	42	200
GC生協(島根)	1	86	372
GC生協おかやま	6	87	386
GC生協ひろしま	9	111	531
GCやまぐち生協	5	534	2,265
GC生協ふくおか	101	1,886	8,364
GC生協さが	17	109	663
GC生協(長崎)	11	165	754
GC生協くまもと	38	509	2,685
GC生協おおいた	17	277	1,227
GC生協みやざき	2	131	481
GCかごしま生協	12	204	918
単協計	239	4,219	19,277
(一社)グリーンコープでんき(低圧)	42		255
(一社)グリーンコープでんき(高圧)	62		4,493
総合計	343	4,219	24,025

■4月の電源構成

【関西電力エリア】

- ・神戸市環境局西クリーンセンター
(燃料：一般ごみ) … 100%

【中国電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料：バイオマス) … 100%

【九州電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料：バイオマス) … 97.2%
- ・馬洗瀬小水力発電所 … 0.5%
- ・杖立温泉熱バイナリー発電所 … 1.1%
- ・家庭用太陽光発電 … 1.1%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

■九州エリア卒FIT買取募集中!

2月から開始した家庭用太陽光発電(卒FIT)の買取登録は現在80件。九州エリアのグリーンコープでんきの電源の1.1%になりました。小さな発電所が集まって大きな力になります。
※中極エリア・関西エリアの買取は、でんきキャンペーンで取り組みます。少しお待ちください。



■市民発電所

- ・グリーン・市民電力の各発電所の2020年2月までの累計実績です。当月の出力制御は神在・深年で6日間実施されました。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	1,034,950	41,398,000
平池水上太陽光発電所	1,260	1,432,436	51,567,679
深年太陽光発電所	1,550	1,476,691	80,325,618
若宮物流センター	47	41,996	1,553,852
広島物流センター	47	48,030	1,777,110
やまぐち西部地域本部	54	52,177	1,846,251
グリーン未来ソーラー(10箇所)	244	388,899	8,166,879
合計	4,259	4,475,179	186,635,389

◆グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億3,197万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、4月27日現在で、11億1,030万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	207	233	17,250,000
GC生協ひょうご	89	107	7,346,000
GC生協とっとり	130	142	10,520,000
GC生協(島根)	237	248	11,840,000
GC生協おかやま	146	163	13,260,000
GC生協ひろしま	664	778	78,627,000
GCやまぐち生協	574	665	42,580,000
GC生協ふくおか	5,366	6,223	526,576,000
GC生協さが	319	358	44,765,000
GC生協(長崎)	569	625	55,163,000
GC生協くまもと	1,467	1,664	124,854,000
GC生協おおいた	776	863	69,618,000
GC生協みやざき	291	327	28,805,000
GCかごしま生協	709	805	79,096,000
合計	11,544	13,201	1,110,300,000

- ・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てています。

- ・2020年4月末支出総額は8億4,881万円で、残高は8,786万円になっています。市民発電所の建設は、継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	936,674,500
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(建設中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	87,864,279